

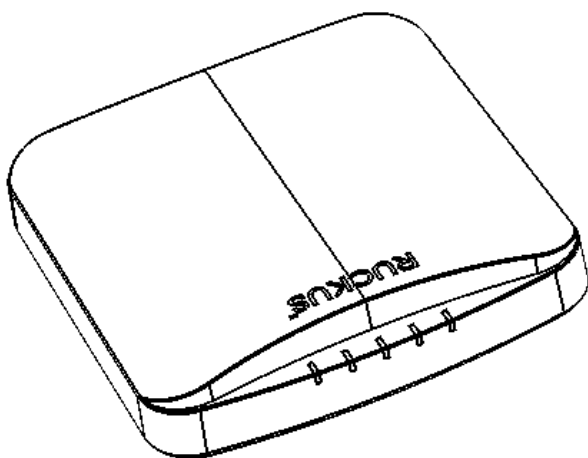
COMMScope® RUCKUS®

R350 アクセスポイント クイックセットアップガイド

このクイックセットアップガイドでは、RUCKUS R350 アクセスポイントを設定アップする際の手順を、各ステップ別に説明しています。本書に記載されている手順に従って作業を行うことにより、アクセスポイント (AP) を現場に配置し、ワイヤレスクライアントにネットワークアクセスを提供できるようになります。

注意: R350 は、RUCKUS Cloud 21.08、ZoneDirector (ZD) 10.5 以降、SmartZone (SZ) 6.0 以降のソフトウェアバージョンでサポートされます。

図 1 R350 アクセスポイント: 上面図



はじめる前に

RUCKUS 製品を導入する前に、最新版のソフトウェアとリリース文書がそろっていることをご確認ください。

- リリースノートおよびその他の文書は、以下に掲載してあります。<http://support.ruckuswireless.com/documents>
- ソフトウェアアップグレードは、以下にて可能です。<http://support.ruckuswireless.com/software>
- ソフトウェアライセンスおよび制限保証の情報については、以下をご覧ください。<http://support.ruckuswireless.com/warranty>
- RUCKUS アクセスポイントの導入を開始する前に、「パッケージの中身」に記載されているアイテムがすべてパッケージに含まれて

いることを確認してください。破損している、または含まれていない部品がある場合は、RUCKUS の営業担当者までお知らせください。また、必要な金具と工具をご用意ください。

本ガイドの他言語版

- 请从以下网站获得该指南的简体中文版 <http://docs.commscope.com/?docs-box>。
- Vous trouverez la version française de ce guide à l'adresse suivante <http://docs.commscope.com/?docs-box>。
- このガイドの日本語版は <http://docs.commscope.com/?docs-box> でご覧ください。
- 이 가이드의 한국어 버전은 웹 사이트 (<http://docs.commscope.com/?docs-box>) 에서 확인하시기 바랍니다.
- Veja a versão em português (Brasil) deste guia em <http://docs.commscope.com/?docs-box>
- Puede ver la versión en español (América Latina) de esta guía en <http://docs.commscope.com/?docs-box>.

パッケージの中身

R350 取り付け用パッケージには、以下の一覧に記載されているすべてのアイテムが含まれています:

- R350 アクセスポイント
- 外部 T レール ブラケット 1 個 (組まれていない状態の 2 個の部品)
- ユニット取り外しピン 1 個
- 適合宣言書/規制に関する声明

AP の設定

ステップ 1: AP の MAC アドレスを入手する

AP の外側に記載されている MAC アドレス (12 桁の英数字) をメモしておきます。

注意: AP をラッカスのコントローラーで管理する場合は、コントローラーのユーザーマニュアルに従って AP をローカルネットワークに接続し、初期操作のための構成を行ってください。この場合は以下の手順を行う必要はありません。

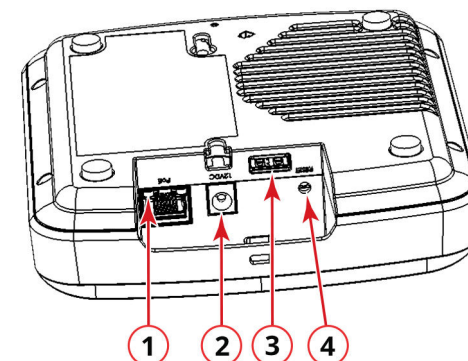
ステップ 2: 必要な金具と工具

- イーサネットアダプターが搭載され、Windows 10 相当および Firefox 相当のウェブブラウザが実行されているコンピューター
- Cat 5e (または上位の) イーサネットケーブル 1 本
- AC/12V DC 電源アダプター (別売り)
または
802.3af 準拠の Power over Ethernet (PoE) スイッチまたは PoE インジェクター

ステップ 3: コンピューターを AP に接続する

- イーサネットケーブルを使用して、コンピューターのネットワークポートを、AP の POE 入力ポートに接続します。
- AC 電源アダプター (別売り) を 12V DC AP ポートに接続し、AC 電源アダプターを手近な保護された AC 電源に接続します。
あるいは、PoE IN ポートに電源とネットワークを一括接続する PoE インジェクターまたは PoE スイッチを接続しても構いません。

図 2 R350 AP 背面パネル



- PoE
- 12V DC
- USB
- リセットボタン

- AP を起動したら、PWR LED ランプが常時緑色に点灯していることを確認します。

ステップ 4: AP のセットアップのためにコンピューターを準備をする

注意: 以下の手順では、オペレーションシステムが Windows 10 であることを想定しております。他の OS の場合でも手順はほぼ同様です。他のオペレーティングシステムの場合も手順はほぼ同様です。

- Windows 10 PC より、**コントロールパネル > ネットワークと共有センター > アダプターの設定の変更** に移動し、ローカルエリア接続の設定からネットワークアダプターを構成します。
- イーサネット > プロパティ > インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4) > プロパティ** に移動し、TCP/IPv4 アドレスの設定を編集します。
インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4) プロパティ のダイアログボックスが表示されます。

注意: この時点で、この手順の完了後にコンピューターを現在の設定に復元できるよう、有効になっている設定をすべて書き留めておいてください。

- 次の IP アドレスを使う** を選択し、(または、既に選択されている場合には) 以下の入力を行います。
 - IP アドレス:** 192.168.0.22 (または 192.168.0.x ネットワーク内のいずれかのアドレス、ただし R350 AP のデフォルトとして使用されている 192.168.0.1 を除く)
 - サブネットマスク:** 255.255.255.0
 - DNS サーバーとデフォルトゲートウェイ** の各欄は空白のままにしておきます。
- OK** をクリックして変更を保存します。変更は即座に反映されます。

ステップ 5: AP Web インターフェイスにログインする

ステップ 4: AP のセットアップのためにコンピューターを準備する (1 ページ) で指定されているように、コンピューターがイーサネットポート経由で AP に接続され、AP の電源が投入されており、セットアップの準備が整っている必要があります。

1. コンピューターでウェブブラウザのウィンドウを開きます。
2. AP と接続するために、ブラウザに <https://192.168.0.1> と入力します。
3. Enter キーを押して接続を開始させます。セキュリティ警告のダイアログボックスが表示された場合には、OK/Yes をクリックして進みます。
4. RUCKUS Admin ログイン ページが表示されたら、以下の情報を入力します。
 - Username : super
 - Password : sp-admin
5. Login をクリックします。最初のログインで、デフォルトのパスワードを変更するようにとのメッセージが表示されます。
6. Change Password (パスワードの変更) ログイン ページが表示されたら、以下の情報を入力します。
 - New Password (新しいパスワード): 新しいパスワードを入力します。
 - Confirm Password (パスワードの確認): 新しいパスワードをもう一度入力します。
7. Submit (送信) をクリックします。
8. 新しいパスワードを使用してログインします。

ステップ 6: ワイヤレス設定をカスタマイズする

1. AP Web インターフェイスメニューで **Configuration > Wireless > 5G** または **Configuration > Wireless > 2.4G** の順にクリックします。Configure > Wireless > Common オプションが表示されます。
2. 以下の項目が有効になっていることを確認します。
 - Channel : SmartSelect
 - Channel Width: 20 MHz、40 MHz、または 80 MHz (デフォルト)
 - Country Code : AP を使用する国を選択します。

注意: 米国で AP を購入した場合は、この値は工場出荷時に United States (米国) に固定されており、ユーザーが変更することはできません。米国以外で AP を購入した場合は、この値が該当する国または地域に設定されていることを確認してください。正しい国コードを選択し、AP がその国または地域で許可されている無線チャネルのみを使用するようにします。

3. 設定を変更した場合、Update Settings をクリックします。
4. ページ上部の 8 つの Wireless # (Wireless LAN Number) タブのいずれかをクリックします。
5. Wireless Availability の Enabled をクリックします。
6. SSID の欄に入力されている内容を削除し、ユーザーがワイヤレスネットワーク接続アプリケーション内で AP を認識しやすくなるように、新たにネットワークの名称を入力してください。
7. Update Settings をクリックして変更を保存します。
8. 必要であれば、有効にする他の Wireless # (Wireless LAN Number) インターフェイスについて、ステップ 4 から ステップ 7 までの作業を繰り返します。
9. Logout をクリックして Web インターフェイスを閉じます。

10. コンピューターおよび使用中の電源から AP を取り外し、コンピューターのネットワーク設定を元に戻します。

ステップ 7: AP を施設内に設置する

1. AP を所定の設置場所 (AC または PoE 電源およびネットワークへの接続が可能な場所) へ移動させます。
2. Cat 5e (または上位の) イーサネットケーブルを使用して、ネットワーク (または PoE インジェクターがスイッチ) を AP の POE IN ポートに接続します。
または
802.3af 準拠の PoE スイッチが PoE インジェクターを使用していない場合は、AC 電源アダプターを AP に接続し、電源に接続します。
3. POE IN ポートの LED ランプが点灯していることを確認します。

ステップ 8: 設置を確認する

1. ワイヤレス機能のあるコンピューターまたはモバイルデバイスを使用し、前述で設定したワイヤレスネットワークを探して選択します。
2. 接続に成功したらブラウザを開き、一般の Web サイトに移動します。
おめでとうございます! 設定したワイヤレスネットワークは稼働しており、使用可能な状態です。セキュリティを有効にするなど高度なワイヤレス設定を構成する場合は、『RUCKUS Indoor AP User Guide (ラッカス屋内 AP ユーザーガイド)』を参照してください。

AP の取り付け

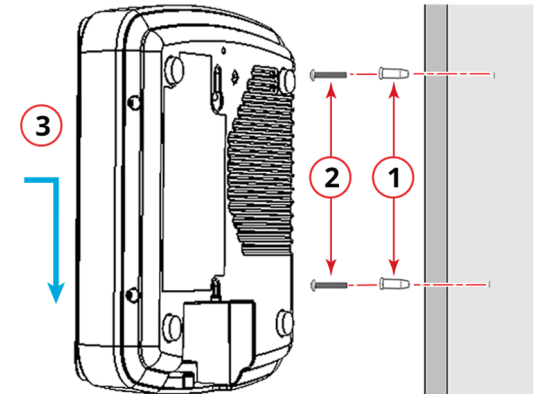
AP は平面、吊り天井 T レールに取り付けることができます。

平面への取り付け

出荷時に同梱の取り付けネジとプラスチックのウォールアンカーで、AP を壁その他の平面に取り付けることができます。

1. 本クイックセットアップガイドの最後のページにあるマウントテンプレートを使用して、取り付け面の 2 つの穴をあける場所に印を付けます。
2. 4.75mm (3/16 インチ) のドリルビットを使用して、取り付け面に深さ約 25 mm (1 インチ) の穴をあけます。
3. 出荷時に同梱のアンカー (図 3 の 1) と取り付けネジ (図 3 の 2) を取り付け面に挿入します。その際に、AP カバーを掛けられるようにネジ頭の約 6 mm (1/4 インチ) を突き出した状態で残しておきます。

図 3 平面への AP の取り付け



1. 同梱のアンカー

3. AP

2. 取り付けネジ

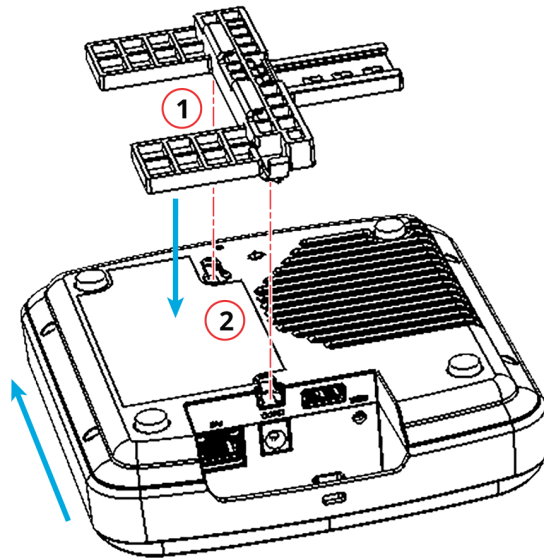
4. ネジ頭が AP カバー上の鍵穴に入るように取り付けネジの上に乗せ、上側の AP の鍵穴が AP を上部取り付けネジに固定されるまで、AP を下方にそっと押し込みます。

吊り天井 T レールへの取り付け

付属の T レール取り付け用アセンブリキットを使用すると、埋め込み式の平らな吊り天井の T レールに AP を取り付けすることができます。

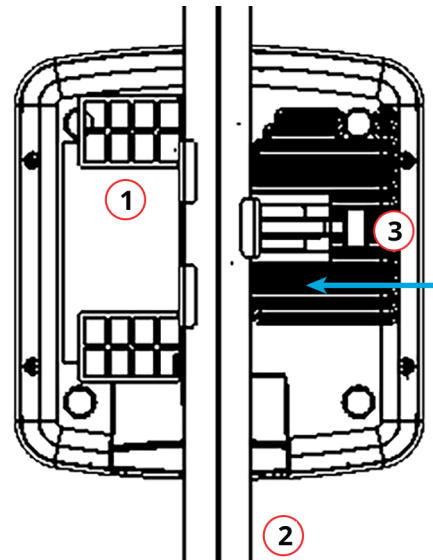
1. T レールブラケット (図 4 の 1) の底部にあるスタッドを AP カバー上の鍵穴 (図 4 の 2) に入れます。
2. T レールブラケットを AP 下部のイーサネットポートの逆方向にスライドさせ、AP 固定つまみが正しい位置にしっかりと入り、T バーブラケットスタッドが鍵穴に掛かった状態にします。

図 4 AP への T レール ブラケットの取り付け



1. T レール ブラケットの
スタッド 2. 鍵穴

図 5 AP と T レール ブラケットを固定つまみで取り付ける



1. T レール ブラケット 3. 固定つまみ
2. T レール

- 天井タイル (ある場合) をそっと押し上げて外します。
- T レール ブラケット (図 5 の 1) をはめ、2 つの留め金が T レール片方の端 (図 5 の 2) に掛かるようにします。必ず両方の留め金が T レールに掛かっているようにします。
- AP を正しい位置に保持し、固定つまみ (図 5 の 3) を、留め金が T レールのもう一方の端に掛かるまでそっと押します。

注意: 3 つの留め金のすべてが T レールに掛かっている必要があります。

トラブルシューティング

注意! 必要であれば、リセットボタンを押して、AP を工場出荷時の設定にリセットすることができます。ペン先または 3 mm のマイナスドライバーでリセットボタンを押します。リセットボタンを 4 秒以上押さえたままにし、工場出荷時のデフォルト設定に戻します。指示された場合以外は、AP を工場出荷時のデフォルト設定にリセットしないでください。(この操作を行うと、AP の IP アドレスが 192.168.0.1 にリセットされます。)

注意: リセット後、<https://192.168.0.1> を使用して AP 内部のウェブインターフェイスにアクセスできます。お使いの機器では、192.168.0.2 ~ 192.168.0.254 (サブネットマスク 255.255.255.0) のアドレスを使用する必要があります。ユーザー名は「super」、パスワードは「sp-admin」です。AP の構成と操作の詳細については、『屋内アクセスポイント ユーザーガイド』を参照してください。このドキュメントは <https://support.ruckuswireless.com> から入手できます。

補足

AP を設定および管理する方法の詳細については、<https://support.ruckuswireless.com> に用意されている『ラックス アクセスポイント ユーザーガイド』を参照してください。

RUCKUS WIRELESS, Inc. は CommScope, Inc. の完全所有子会社です。

© 2021, CommScope, Inc. All rights reserved.

ARRIS、ARRIS ロゴ、COMMSCOPE、RUCKUS、RUCKUS WIRELESS、RUCKUS ロゴ、および Big Dog デザインは、CommScope, Inc. および/またはその系列

会社の商標です。Wi-Fi Alliance、Wi-Fi、Wi-Fi ロゴ、Wi-Fi Certified、Wi-Fi CERTIFIED ロゴ、Wi-Fi Protected Access、Wi-Fi Protected Setup ロゴ、Wi-Fi Protected Setup、Wi-Fi Multimedia および WPA2 および WMM は Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。その他すべての商標は、各所有者の専有財産です。

